

はまY^①U



平草原の桜

Vol.
8
2008.春号

CONTENTS

理念・基本方針 院長挨拶	2
妊婦健診・分娩後検診について	3
回復期リハビリテーション病棟のご紹介	4
外科のご紹介・診療実績	6
集団災害医療訓練実施	7
第8回院内研究発表大会	8
鮎川診療所 電子カルテ・遠隔画像診断システムが稼動 整形外科のご案内	9
川添診療所 新施設完成 花粉症について	10
患者さまからの声	11

小児科外来

診療日／月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前

受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時

ふるくぼ かずひろ
担当：古久保 和洋 医師

産婦人科外来

診療日／月曜日 午前
火～木曜日 午前・午後
金曜日 午後

受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時

くにべ ひさや
担当：國部 久也 部長



案内・介助ボランティア募集中

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。

理念

基本方針

あみだ い
んねつ
しなで
が、もも



私たちは、地域に根ざした医療機関として、最高の誠実さと最大限の努力で、親切で質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりを行います。

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の状態のいかんにかかわらず、利用者の皆様の気持ちや権利を大切に医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様との協働作業として、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

院長挨拶

平素は、皆様には、白浜はまゆう病院に一方ならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

昨年度は、週1回ではありますが脳外科を開設することができましたし、8月からは泌尿器科を新たに設け、すでに多くの手術や膀胱鏡検査などを行っており、おかげさまでご好評をいただいております。

また、今年度からは、紀南病院とのタイアップで妊婦健診も行う事となっております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

機器の更新につきましては、昨年には、嘔吐反射が少なく検査が楽に行える経鼻内視鏡を購入し、日々の内視鏡検査に用いております。

また、本年は心臓血管超音波検査装置を最新の装置に更新いたします。これにより、数段の画質向上による診断能力のアップが期待できます。

どうぞ、お気軽にお申し付けいただきご利用くださいますようお願いいたします。



白浜はまゆう病院 院長
谷口 友志

さて、国のなりふりかまわぬ医療福祉費抑制政策により、2012年3月には、介護保険病床（新館4階、5階病棟）が廃止され、さらに医療保険による長期療養型病床（新館3階病棟）の半減策が計画されております。

現在、入院されている病床がなくなるのです。それに伴い、住宅型有料老人ホームなど新たな事業が出現してきておりますが、一般に、入居費は年金生活の方にはとても手が届かないかなり高額なようです。

また、ある報道では、厚生労働省は4割の在宅死を目指しており、一方、高齢者の方々へのアンケート調査では在宅死を望まれる方は1割に満たなかったとありました。

若かりし時に戦地に赴き、あるいは銃後を守り、そして我が国の最も苦しい時をまさに命を懸けて支えてこられた方々に対するこの仕打ちには憤りをも覚えます。

2000年に介護保険制度が開始されて以来いまだ10年にもなりません、その間、朝令暮改の改正のたびに右往左往させられてきました。

しかしながら、愚痴ばかり言っても始まりません。

この度の迷走ともいふべき大きな転換政策に対しても、私どもはこれに向かって早急に病院としての対策を考えなくてはなりません。

皆様方の声をいただきながら、鋭意、方針を決定していきたいと考えておりますので、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

妊婦健診・分娩後検診(乳房検診)スタート

～4月から毎週火曜日午後 分娩後検診(乳房検診)を開始します～

白浜はまゆう病院産婦人科が新たなスタートをさせていただいてから2年間が経ちました。白浜町の皆様をはじめ近隣市町村の皆様には、日頃からお世話になっております。皆様も新聞などで、よくご存知のこととは思いますが、今、産婦人科、特に産科診療が危機的な状態です。白浜町周辺でも分娩可能な施設が2ヶ所しかなく、妊娠中の皆様及び出産後の皆様も色々とお苦勞がおりと思います。



産婦人科部長
國部 久也

そこで当院では、周辺病院での待ち時間解消などの観点から、4月から妊婦健診および分娩後検診をスタートさせていただくこととなりました。一緒に外来を担当してもらえる助産師さんも1名採用することができ、4月1日より毎週火曜日午後1時から4時まで予約制で開始させていただきます。なお、当院には分娩施設がありませんが、社会保険紀南病院産婦人科のご協力を得ることができましたので、密接に連絡を取らせていただき、夜間・休日なども安心して相談していただけるような体制を取らせていただきます。分娩の際は、基本的に社会保険紀南病院へ紹介させていただきますが、その他の施設をご希望の場合も、十分に配慮させていただきます。

3月より外来予約を開始させていただきますが、システムなどご質問がありましたら、産婦人科外来においでいただくか、お電話でもご説明いたしますので、お気軽にご相談ください。

この取り組みで、周辺病院の先生方の負担が若干でも改善され、また受診される妊娠中・出産後の皆様の安心・安全につながればと考えております。宜しくお願いいたします。

妊婦健診外来・分娩後検診(4月より)

日 時：毎週火曜日 午後1時から午後4時まで
(完全予約制) 予約はお電話でどうぞ。

担 当：産婦人科医師1名および助産師1名

診 療 内 容：定期妊婦健診、分娩後検診
分娩後の乳房のトラブルなども
是非ご相談下さい。



産
婦
人
科
外
来

診 療 日 / 月 曜 日 午前
火～木曜日 午前・午後
金 曜 日 午後

受付時間 / 午前8時半～11時半
午後1時半～4時半

診療時間 / 午前9時～12時
午後2時～5時

く に べ ひ さ や
担 当 : 國部 久也 部長

回復期リハビリテーション病棟（本館3階）のご紹介

～自宅復帰率77%維持、リハビリスタッフによる365日リハビリ提供を～



カンファレンス



リハビリ訓練の様子

急性期治療を終え、何らかの障害を有した人に、その人の持つ能力を最大限に活用できるようにするため、早期リハビリテーションの実施が行なわれます。

在宅及び社会復帰を目指しながら、人間としてその人らしく生きていく人生そのものに関わるプロセスを考慮しながらのサポートが必要です。

多くの医療スタッフが一人の患者様にかかわり、個々の状態に応じた日常生活動作の拡大、自立への援助と障害の受容過程における精神支援を行います。

看護師は24時間、生活者としての視点で働きかけが出来る職種です。2次的障害の予防及び早期発見の全身管理と予測した看護が必須になります。

リハビリ担当者によるリハビリは日曜日のみの休みで実施され、7月からは365日リハビリがスタートします。

私たちスタッフも病棟での訓練を実施しています。今まで当たり前に出ていたのに出来なくなってしまった日常生活動作そのものがリハビリとなります。

まず、朝起きたときは服に着替え洗面をして食堂へ行き椅子に座りかえ食事をする（座位の不安定な方のみ車椅子をそのまま使用）。

排泄はトイレに行く、入浴は浴槽に入る。眠る時はパジャマに着替えて眠る。出来る部分は時間がかかっても手を出さずに見守る事を主におこなっています。言葉や態度に気を付けて接しているのですが、患者様の中には「この病院の看護師は不親切や前の病院はやってくれた」との声が聴かれることもあります。

しかし、日を重ねるにつれて「ありがたいこんなによくなった」「スタッフは優しく頼みやすい雰囲気嬉しい」などとの声が聴かれるようになります。その声を励みに頑張っています。

■対象となる患者様の疾患

1. 脳血管疾患、脊髄損傷等の発症又は手術後2ヶ月以内の状態
2. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節骨折又は手術後2ヶ月以内の状態
3. 外科手術又は肺炎などの治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており手術又は発症後2ヶ月以内の状態
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経・筋・靱帯損傷後1ヶ月以内の状態

※当病棟の内科の患者様は殆どが紹介の脳血管疾患など、整形は当院での手術後で大腿骨の骨折や股関節や膝関節疾患の患者様です。

■スタッフ

看護師13名、介護福祉士2名、看護補助5名

リハビリスタッフは基準をはるかに超える人数です。

基準は理学療法士2名、作業療法士1名のところ理学療法士6名、

作業療法士3名、の計29名です。又4月から理学療法士3名、作業療法士1名が増える予定です。



看護師や介護福祉士、看護補助らが、看護3：1、補助6：1の体制で勤務にあたっています。

これは患者様3人に対し看護師が1人、患者様6人に対し介護福祉士や看護補助1人が勤務している状態です。

そのほかに理学療法士(6人)・作業療法士(3人)が常時おります。

リハビリ担当者は1対1の受け持ち制で実施。その担当者が休む時は他の者がカバーするようにしています。そのためその人がいなくても同じ事が出来る様に常に、情報共有しています。

■入院・退院の流れ

入院時は病棟オリエンテーションを実施し統一したパンフレットに沿って説明しています。

入院日には患者様の基本的な動作といった日常生活に関する動作をみせて頂き介助方法の統一やリハビリテーションを行いやすい環境を考えていきます。

初期カンファレンスは入院後2週間以内に実施しています。その後定期的にカンファレンスを行っています。

カンファレンスで主治医・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー・管理栄養士・看護師らによる各職種の視点から見た問題点や今後の方針などの情報を共有し、病棟チームとして共通した目標に向かってリハビリテーションに取り組んでいきます。

患者様の日常生活動作向上に必要なリハビリテーションプログラムを一人ひとりのニーズや能力に合ったように利用していただけるように日々検討しています。

又、退院後の生活が円滑に送れるように介護保険の申請を勧めています。リハビリ担当者で自宅に伺い改善点についてアドバイスさせて頂きケアマネジャーとの話し合いに参加しています。

■今後の課題

- ・ 整形外科の手術が多く他院より患者様の紹介があってもすぐには入院して頂けない状況にあります。
- ・ 患者様が退院後不安なく医療施設にかかるためにも地域クリニカルパスの充実が必要で進めていますが、末端の医療者まで浸透されていない状況です。



泌尿器科
柏木 秀夫 医長

泌尿器科
外来
月～金曜日
土曜日当番医(大阪市立大学医師)
受付 8:30～11:30

各種検査・手術・入院にも
対応しております。



オリンパス
VISERA Pro 内視鏡システム

大腸ガンの腹腔鏡手術

～京都府立医科大学消化器外科の協力のもと
最前線の医療を提供致します～

白浜はまゆう病院外科の岡山です。昨年4月にこの白浜の地にやってきて1年が経過しようとしています。

ようやく白浜にも慣れ、はまゆう病院での診療にも慣れてきました。

ここで、はまゆう病院の外科の紹介をさせていただきます。はまゆう病院の外科医師は京都府立医科大学の消化器外科医局から赴任してきています。

外科医は2人ですが協力して外科の診療を行っており手術も昨年の春から徐々に増加してきています。

京都府立医科大学消化器外科の大辻英吾教授を始めとして大学病院の医師の全面的な協力のもとに外科手術を行っています。

特に大腸癌の手術では腹腔鏡手術を昨年より國場幸均准教授と共にしています。



外科医長
岡山 徳成



國場准教授は日本で下部消化管の腹腔鏡手術を始めた医師の一人で現在日本の下部消化管における腹腔鏡手術の先頭に立っている先生です。

これからもこの地域の皆様のために京都府立医科大学消化器外科と協力しながら、心のこもった最前線の医療を提供していきたいと考えていますので宜しくお願い致します。

診療実績

2007年診療実績

主な検査	
上部消化管内視鏡検査	1825件
下部消化管内視鏡検査	267件
膵胆系内視鏡検査	14件
気管支鏡検査	5件

主な手術	
人工関節置換術	166件
人工骨頭挿入術	16件
胃切除術	6件
結腸悪性腫瘍手術	6件
肝動脈塞栓法(TAE)	6件
ERM 内視鏡的粘膜切除術	59件
肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼術	6件
胃瘻造設	19件
腹腔鏡下手術	7件
結石碎石手術(TUL)	2件

内視鏡を使ってこんな治療を行っています

- ①胃や大腸のポリープや腫瘍を切除する
- ②胃や大腸の出血を止める
- ③食道や胃の静脈瘤の治療をする
- ④胆管の結石をとる
- ⑤食道や胆管が狭くなっている場合に拡げる処置をする
- ⑥口から食事が出来ない場合、直接胃に流動食を注入できるように処置をする

～早期発見・早期治療が重要です～

～南和歌山医療センターと合同開催 総勢130名!～

南海大地震を想定した集団災害医療訓練

寒風吹きすさぶ12月の日曜日、当院にて2回目の集団災害医療訓練を行いました。今回は南和歌山医療センターとの合同開催とし、白浜消防本部の協力を得て、参加人数も130名を越す規模の大きい訓練となりました。

地震等の大規模な自然災害により多数の傷病者が発生した場合、来院してきた傷病者を順番に診察しようとするとうすぐにパニック状

態になってしまいます。そこで、傷病者の緊急度や重症度によって治療順位を決める「トリアージ」を行い、優先順位を決定した上で治療を開始することになります。

また、災害医療は医療資源に限りがある中で行われるので、救命の可能性が少ない傷病者は治療の適応がないと判断されます。これを避けるためには、傷病者を可能な限り多数の医療機関に分散させることも必要になってきます。

いざというときに頼ってもらえる医療機関となるためには、災害医療の訓練を継続して行うことが必要です。

さて、今日の訓練は、南和歌山医療センターおよび白浜消防に患者役・患者家族役・報道機関役などを演じていただき、当院のスタッフが傷病者をトリアージして治療するという流れで行われました。

患者役のみなさまには外傷のメイクもしていただき、また本物かと思いがうばかりの迫真の演技により、本番さながらの緊迫した訓練とすることができました。

さらに、より現実的に即した訓練になるよう、何人の職員がいつ登院してくるのか、また傷病者は何人でいつ搬送されてくるのか、参加者には一切知らされないまま訓練が開始されました。

そのため、当院の対策本部は職員の配置先や受け入れ能力の判断などそのつど決定して受け入れ態勢を作っていかなければならず、参加者はとても苦勞したと思います。

本当に災害が起こったときにどう対応しなければならないか、という課題に向けて一歩前進できたと考えています。反省点も多く見つけることができましたので、次回の訓練につなげ、この地域での災害医療に少しでも貢献できるようにしていきたいと思っています。



トリアージオフィサーによるトリアージ



模擬記者会見



トリアージオフィサーによるトリアージ

～259名が参加して盛大に開催～

第8回院内研究発表大会

2008年2月21日18時30分よりコガノイバイホテルにて第8回目になる院内研究発表大会が開催されました。

研究発表に先立ち勤続10年の永年勤続表彰が行われ、次の方々が受賞されました。

永年勤続表彰 被表彰者氏名(勤続10年)

薬局	薬局長	坂本 憲一
リハビリテーション室	副主任理学療法士	大西 智子
外来	主任看護師	湯川 玉美
外来	准看護師	廣畑 美峰
西富田クリニック	看護師	宮本 美紀



第一部研究発表 興味深いテーマはありましたか？

- ①「整形外科外来における待ち時間対策への取り組み」 外来 堺小百合
- ②「無駄を省くエコへの取り組み」 総務課 湯川真美
- ③「認知症予防教室の取り組み」 在宅介護支援センター 柴田みづほ
- ④「コミュニケーションスキル勉強会が傾聴態度にもたらす影響」 臨床心理士 森口浩司
- ⑤「『失語症者の集い』への失語症患者および家族への意識調査」
リハビリテーション室 船渡由香
- ⑥「泌尿器科医がいなくて困った症例」 泌尿器科 柏木秀夫

各演者は日頃の実践と研修をもとに、熱のこもった発表を行い、活発な質疑・応答が交わされました。



柏木医長発表

第二部「講演と演奏」

第二部ではESPERANZA(奥田良子氏、奥田勝彦氏)をお招きして、「愛という名の奇跡！難病・ひきこもりを乗り越えて“光のステージ”へ」の講演・演奏会が行われました。

フルートとオカリナを演奏する奥田良子氏は難病指定されている「クローン病」との闘病生活から夫である奥田勝彦氏の支えや医師、看護師の言葉に励まされ、コンサートを開くようになるまでの経緯と心境を語りました。

トークの合間には「千の風になって」や「少年時代」などの癒しの音楽を演奏されました。

医療従事者としても医療技術では補えない心のケアの大切さと音楽のリラクゼーション効果を再確認できる内容でした。

本大会は会場フロアが全面禁煙ということを受けて、会場入口では労働安全委員会とマナーリーダー会による禁煙推進キャンペーンが行われました。

大会には病院職員、顧問、評議員、地域の医療機関関係者など総勢244名で参加し、第二部の講演演奏会には一般の方15名の来場があり、盛会の内に終了しました。



鮎川診療所

4月から、整形外科診療を開始

～電子カルテ・遠隔画像診断システムが稼働しています～

鮎川診療所 所長 齊藤 豊

鮎川診療所には、胸部や腹部などの単純撮影ができるレントゲン撮影、心電計、腹部エコー・頸動脈エコーなどが可能な超音波診断装置や呼気一酸化炭素濃度測定器などの医療機器を揃えております。

一般診療の他に禁煙外来や動脈硬化の有無や程度などが分かる頸動脈エコー検査を、また、必要に応じて往診を行っておりますので遠慮なくご相談ください。

昨年末に電子カルテを導入し白浜はまゆう病院と診療情報を共有することができるようになりました。診療所で撮影されたレントゲン写真を病院の専門医に診断してもらえる他に、病院での専門医の診察やCT・MRIなどの高度な医療機器の利用も円滑に予約することができます。

それらの結果も診療所で見る事が可能となりました。さらに、病院での診療内容も手に取るようになり、継続的な治療が診療所で安心して受けられ、より一層地域での医療を充実できるようになりましたので、是非とも気軽に安心してご利用されますようお願いいたします。

なお、患者様の事情や希望に応じて、紀南病院や南和歌山医療センターに紹介、逆紹介を行うことは従来どおりです。

整形外科のご案内

診療日／火曜日 午前
水・金曜日 午後

診療開始／4月1日(火)～

担当医師／しみず まさひろ
清水 昌宏 医師

プロフィール

御坊市出身
1992年 3月 慶應義塾大学医学部卒業
1992年 6月 京都大学医学部付属病院 整形外科入局
1993年 4月 大阪赤十字病院 整形外科勤務
2003年 4月 和歌山県内病院 整形外科勤務
2008年 4月 白浜医療福祉財団 整形外科勤務(西富田クリニック)
日本整形外科学会認定専門医 身体障害者診断指定医

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	齊藤	齊藤	西	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤	—	齊藤	齊藤	松尾	—
整形外科			清水			清水				清水		

■休診日 日曜日 祝祭日 年末年始(12月29日～1月3日) 盆 木・土曜日午後

往診を行っています。往診が必要な方は、医師・看護師にご相談ください。

川添診療所

待望の新施設完成

白浜町国民健康保険直営 川添診療所
所長 中川武正

白浜町国民健康保険直営川添診療所は、この40余年旧川添村役場を移設した建物で診療を行ってまいりました。

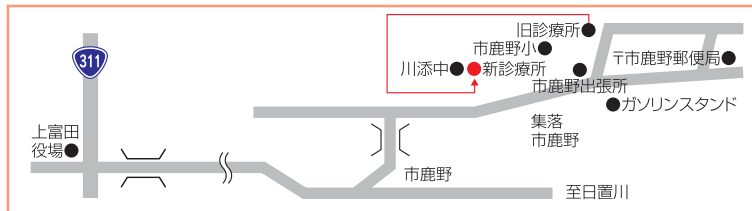
しかし建物の老朽化や耐震性などの問題があり、この度白浜町役場ならびに白浜医療福祉財団のご厚意、ご尽力により診療所を新築して頂きました。

小生は昨年4月の赴任以来、旧診療所に深い愛着を持って診療に従事してまいりましたが、今回の転居に際し改めて初心に戻りたいと存じます。すなわち診療所スタッフとともに、川添地区の皆様の心身両面からのケアに努め、安心して暮らせる地域づくりに、微力ながら貢献していきたいと思います。

今後のご厚誼、ご支援のほどを謹んでお願い申し上げ、簡単ながらご挨拶の一文とさせていただきます。



新川添診療所



【医療機器】

インバータ式X線撮影システム、
CR システム、
内視鏡ビデオ情報システム、
自動解析心電計、自動分割分包機、
小型尿分析装置ポケットケム UA、
遠隔画像診断システム

ただいま花粉注意報発令中

花粉は1年中飛んで症状を起こします

今まさにスギ花粉症がきつい頃です。スギ花粉症は代表的なアレルギー疾患で、過敏なヒトには鼻水・くしゃみ・鼻づまりや眼の痒みが起こります。また頭が重かったり、咳がでたり、湿疹が悪くなったりします。スギだけでしたら症状は2月～4月中旬ですが、ヒノキにも過敏であれば5月の連休明けまで続きます。恐ろしいことに、スギに反応するヒトの8割はヒノキにも反応するのです。またこの早春の時期はウメやシラカンバ科のハンノキの花粉も飛んで、問題になります。

そして4～6月は、カモガヤ、ホソムギ、オオアワガエリといったイネ科花粉の季節です。イネ科花粉は鼻や眼の症状以外に、息する時にゼーゼー・ヒューヒューという音がして苦しくなる「気管支ぜんそく」を合併しやすいので、注意が必要です。またヒトによってはトマト・メロン・スイカなどを食べると唇や口の粘膜がしびれたり腫れたりする「口腔アレルギー症候群」を起こします。その他ハンノキに過敏なヒトはモモ・リンゴなどに、ブタクサに過敏なヒトはメロン・スイカ・セロリ

などに反応しやすいのです。

次いで8～10月はキク科のブタクサ・ヨモギや、クワ科のカナムグラなどの花粉が飛びます。このように1年中とは多少大げさですが2月～10月、極めて過敏なヒトでは1月～11月に、様々な花粉によって色々な症状が起きるのです。では花粉にどう対応すればよいのでしょうか？まずは花粉を身の回りから少なくすることです。

そのためには

- ①花粉情報に注意する。
- ②飛散の多い時には外出を控え、家の窓や戸を閉める。
- ③外出時マスク・メガネを着用する。
- ④帰宅時花粉を落とし、洗顔・うがいをして鼻をかむ。
- ⑤掃除を励行する。

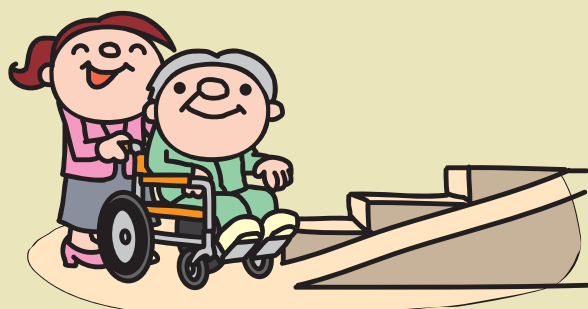


などが必要です。それでも症状がきつければ、抗ヒスタミン薬やロイコトリエン拮抗薬を服用します。場合によっては点眼薬や鼻のスプレーも一緒に使います。いずれにせよ花粉症でお困りでしたら、まずは診療所や病院にかかって適切なお薬を処方して頂くことです。そうすればあなたの悩みは軽減することでしょう。

患者さまからの 声 Voice

Q 正面玄関の段差が危ない。足の不自由な人もいるのだから、バリアフリーにするべきではないか。

A 現在、玄関に向かって右側は、スロープにしています。全面をスロープにしますと、車の乗り入れがあり、歩行者の安全がおびやかされることを危惧しております。
このような状況でありますので、現状を維持せざるを得ないことについて、ご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。



Q 1月3日の祝日に救急で4時ごろ来たが、30分以上後にきた患者さんが看護師さんの知り合いらしく、その方が先に受診した。何のために先に来て待っていたのか！！順番はないのですか、この病院は？！とにかくすごく感じが悪かったです。

A 休日の急病の患者様の診察は、内科医師と外科医師が2名で行っています。当日、ご来院の折には、内科医師は先に来られた患者様の診察中であり、内科系疾患の患者様には、お待ちいただくことになった次第です。後に来院された患者様は、外科系の疾患であり、順番待ちの患者様がいなかったため、直ぐの診察となりました。ご指摘のように、診察の順番は受付順を原則にしておりますが、このように診療科の違いや、患者様の容態によって、順番が前後することもあります。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。また、後に来院された患者様は、以前から通院をされており、看護師と顔なじみになっていたこともあって、お感じになられたような印象を受けられたのだと思います。
当日は以上のような事情でありましたが、診察待ちの皆様には知る由もないことですので、順番が前後する時には、お待ちいただいている方々に、一言お声かけするなどの配慮が必要であったと反省致しております。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880** (受付) **43-6200** (代表)

診 療 科			月	火	水	木	金	土
内 科	内科1（初診）	午前	山崎	立田	山崎	松本	田中	高村
		午後	伊藤	木下	松本	木下	立田	
	内科2（再診）	午前	木下	伊藤	松尾	松尾	山崎	
		午後	松本	伊藤	松尾	松本	山崎	
	内科3（再診）	午前		齊藤				
		午後	田中		立田		木下	
	内科4（再診）	午前	佃		中川	佃	伊藤	
		午後			佃		伊藤	
	内科5（再診）	午前			谷口		谷口	
		午後			谷口			
外科 胃腸科		午前	当番医	岡山	原田	岡山	原田	当番医
整 形 外 科	整形1（初診）	午前	政田	リウマチ外来／金	政田	金	政田	原
		午後	ギブス装具外来					
	整形2（再診）	午前	金					
		午後						
小児科		午前	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保
		午後	古久保	古久保		古久保	古久保	
産婦人科		午前	國部	國部	國部	國部		
		午後		國部	國部	國部	國部	
皮膚科		午前						県立医大 京都大学
		午後		県立医大 京都大学				
眼科		午後		井上				
耳鼻咽喉科		午後				県立医大		
循環器外来		午前		伊藤			伊藤	
		午後	伊藤	伊藤			伊藤	
呼吸器外来		午前			松尾	松尾		
		午後			松尾			
アレルギー・呼吸器専門外来		午前			中川			
腎臓内科		午前		齊藤				
泌尿器科外来		午前	柏木	柏木	柏木	柏木	柏木	当番医
神経内科・ リハビリテーション専門外来		午前	小口	廣西	小口		石口	
		午後	廣西			小口／中西		
脳神経外科		午前				中北		
緩和ケア外来（予約制）		午後			伊藤			
心療内科 漢方外来		午後	田中		立田			
糖尿病専門外来		午後		井神				
消化器専門外来		午前	山崎		谷口		山崎／谷口	
		午後			谷口	木下	山崎	
腫瘍内科		午前	佃			佃		
		午後			佃			
循環器・高血圧専門外来		午前						有田（月2回）
関節専門外来		午前						金

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日・祝
午前 (月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	※診療時間外 (夜間・休日) に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付しま すので、白浜はまゆう病院 へ電話で連絡ください。
午後 (月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
眼科 (火)	12:00～14:30	12:30～15:30	
皮膚科 (火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
耳鼻咽喉科 (木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来 (土)	8:30～11:00	9:00～12:00	
神経内科・リハビリテーション 専門外来 (中西)	13:00～16:00	13:00～16:00	



(財) 白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 立谷誠一 ●院長 谷口友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739 (43) 6200 FAX.0739 (43) 7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地
■白浜はまゆう病院在宅介護支援センター	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739 (45) 3600	FAX.0739 (45) 3678
TEL.0739 (48) 0031	FAX.0739 (48) 1005
TEL.0739 (52) 2002	FAX.0739 (52) 4192
TEL.0739 (53) 0001	FAX.0739 (53) 0001
TEL.0739 (54) 0037	FAX.0739 (54) 0037
TEL.0739 (43) 5226	FAX.0739 (43) 0682
TEL.0739 (43) 7870	

◇2008年3月発行 編集・発行／(財) 白浜医療福祉財団